

風水害編

近年、地球規模の気候変動により猛烈な台風や豪雨等の風水害の発生頻度が増加しています。

令和元年台風第19号

台風第19号の概要と台風接近時の府中市の防災対応。

府中市に起こり得る風水害

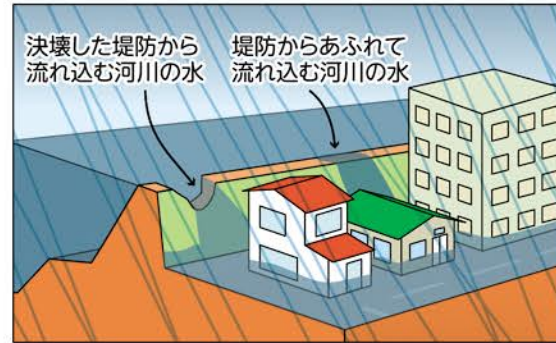
府中市は一級河川の氾濫や急傾斜地の崩壊等の風水害が懸念される地域特性があります。

河川の氾濫(多摩川)

府中市に起こり得る最も大規模な風水害は多摩川の氾濫です。

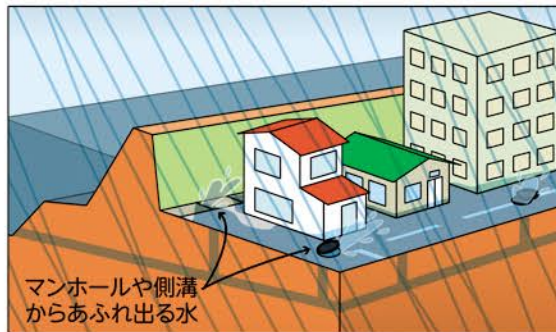
大雨により川が増水して堤防を越える「越水」や堤防が崩れる「決壊」により、市街地などに川の水があふれだすことを(外水)氾濫といいます。

多摩川のような大規模な河川は、降り注いだ雨が川に流れ込む範囲がとても広いので、洪水を起こしてひとたび氾濫すると甚大な被害が発生します。



内水氾濫

時間雨量50mmを超える大雨が降ると下水道がオーバーフローを起こします。



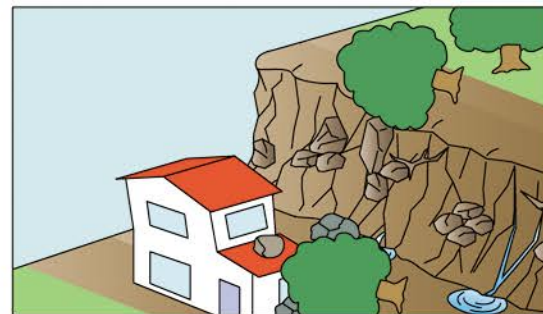
急激な大雨により雨量が下水道などの排水能力を超えたときや、河川の水位が上昇して十分に排水できなくなり道路や低い土地が浸水してしまうことを内水氾濫といいます。

雨水マスがオーバーフローしてマンホールが吹き上げられたり地下室などに流入するおそれがあります。

土砂災害

すさまじい破壊力により一瞬にして人命や住居などの財産を奪います。

大雨や長雨によって多くの雨水が地面にしみ込むと、地面が柔らかくなり斜面などで土砂が崩れて押し寄せる現象です。斜面から小石がパラパラと落ちたり、水が噴き出したり、地鳴りがするなどの前兆現象が発生する場合があります。

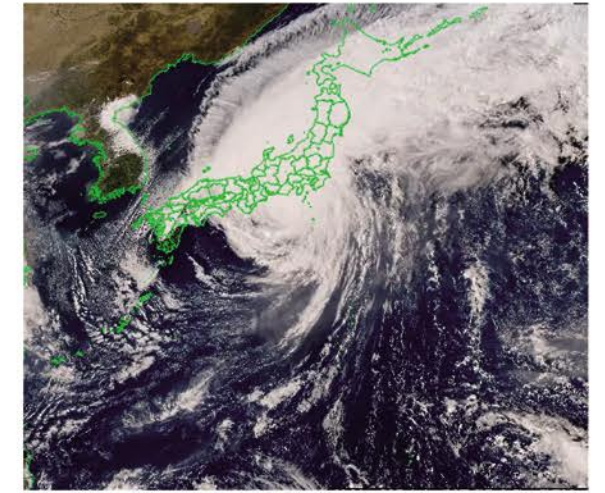


●流域

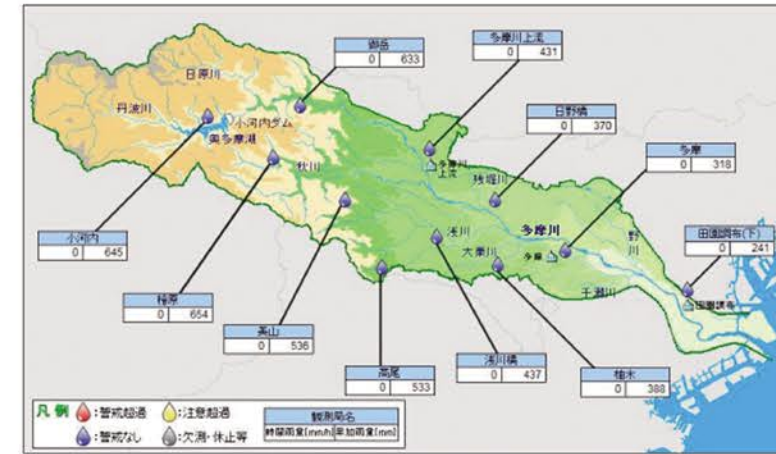
地面に降り注いだ雨が川に流れ込む範囲を流域といいます。多摩川は山梨県小菅村など山間部に流域が広がっています。府中市が位置する中流域は上流域から直線距離にして70km離れているため、上流域の大雨が影響して府中市付近で洪水を起こすまでには数時間かかります。また、平野部と山間部では気象条件が全く異なるため雨の降り方が違うので注意が必要です。

10月6日に南鳥島近海で発生した台風第19号は大型で猛烈な台風に発達し、12日には大型で強い勢力を維持したまま関東地方に上陸しました。

台風の通過中には府中市をはじめ多くの自治体に大雨特別警報が発表され、また、多くの地点で3・6・12・24時間雨量が観測史上1位を記録する大雨をもたらし、各地で河川の氾濫や土砂災害による人的被害や住家被害、ライフラインへの被害が発生したほか、航空機や鉄道の運休による交通障害が生じました。



出展：JMA, NOAA/NESDIS, CSU/CIRA



出典：出水概要「第4報」台風第19号令和元年10月11～13日 国土交通省関東地方整備局京浜河川事務所

多摩川流域では10月11日の昼過ぎから雨が降り始め、御岳や檜原では1時間に最大56mmの大雨を観測し、総雨量は檜原で最大649mmに達しました。また、府中市においても24時間の雨量が289mmの降雨となりました。

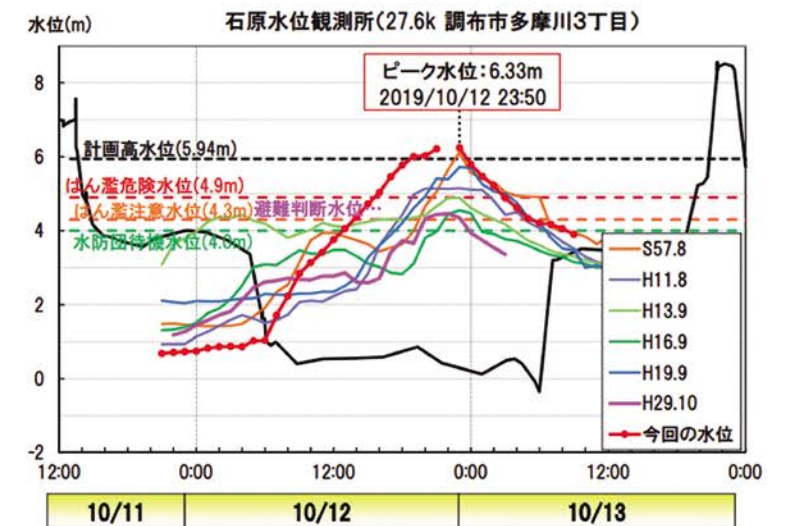
この大雨により府中市では12日の午後9時5分に大雨特別警報が発表されました。

府中市制施行以来初めて多摩川の増水に伴う避難勧告を発令※

市の施設をはじめ37か所の避難所を開設し、延べ8,280名が避難所に避難しました。

府中市は台風第19号の接近により不安を感じている市民のために12日の正午に自主避難所(市内の市立小中学校3校)を開放しました。その後、多摩川の水位が急激に上昇し石原水位観測所(調布市多摩川3丁目)において午後3時半過ぎに氾濫危険水位(4.9m)を越えて更に水位の上昇が見込まれたため、府中市災害対策本部は避難勧告の発令※を行いました。午後10時50分にはピーク水位の6.33mに到達し、程なくして下流の自治体で氾濫が発生しました。

※令和3年5月の災害対策基本法改正に伴い避難勧告は廃止されています。



出典：出水概要「第4報」台風第19号令和元年10月11～13日 国土交通省関東地方整備局京浜河川事務所



台風第19号時の災害対策本部の様子(左の写真)

災害対策本部では多摩川の急激な増水に緊迫するなか職員の参集、避難勧告の発令※に係る判断や避難所の開設指示、浸水被害や倒木被害等への対応などの指示を行いました。府中市災害対策本部の設置は東日本大震災以来2度目となります。

多摩川に関する防災情報

多摩川の防災情報を正しく理解して命を守る備えにつなげましょう。

多摩川の水位と警戒レベル（避難情報）の関係

府中市は石原水位観測所（調布市）の水位を注視して洪水の警戒にあたります。

多摩川には洪水による水位の上昇に合わせて段階的にその危険度を知らせる警戒レベルが設定されています。警戒レベルは、住民がとるべき防災行動を直感的に理解できるよう5段階のレベルで表した避難情報で2019年の出水期から運用を開始しています。



自分や家族に合った適切な避難のタイミングを考える

令和元年台風第19号を参考にして避難のタイミングを考えましょう。

「避難」とは災害から命を守るための行動です。風水害は地震と違い災害が発生する前に自ら行動する必要があります。令和元年台風第19号の事象等を踏まえて、ご自身や家族がどのタイミングで避難をすべきか考えてみましょう。マイ・タイムライン(33ページ)も参考にしてみましょう。



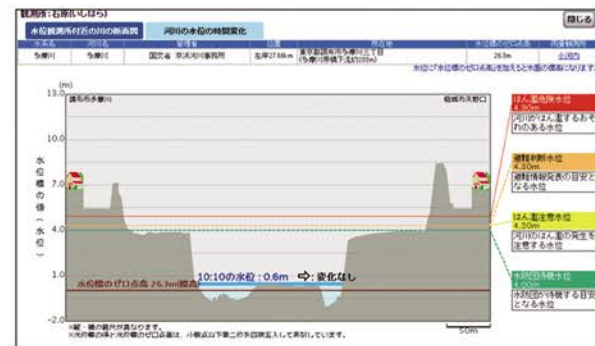
令和元年台風第19号(令和元年東日本台風)の出来事

日付	時間	主な出来事
10月12日(土)	22:50	最高水位6.33m到達(石原)
	22:30~40頃	下流の自治体で氾濫発生
	21:05頃	大雨特別警報(気象庁)
	21:00	土砂災害警戒情報(気象庁)
10月11日(金)	18:40頃	計画高水位到達
	17:00	避難勧告発令(府中市)※
	15:30頃	氾濫危険水位到達
	14:30頃	避難準備・高齢者等避難開始(府中市)
10月12日(土)	14:00頃	氾濫注意水位
	12:00頃	暴風警報(気象庁)
	12:00頃	鉄道各社が計画運休開始
	12:00	自主避難所3か所開所(府中市)
10月11日(金)	4:00	大雨警報・洪水注意報
	17:00頃	鉄道各社が計画運休を発表
10月11日(金)	20:30頃	大雨・強風注意報(気象庁)
	12:00頃	気象庁が狩野川台風クラスの台風と警告
5日前	5日前	台風5日間強度予報(気象庁)

※令和3年5月の災害対策基本法改正に伴い避難勧告は廃止されています。

多摩川の水位情報とライブカメラ

多摩川の水位やライブ映像など川の防災情報を国土交通省京浜河川事務所のホームページから確認することができます。
<https://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/>



注意報・警報に注意

気象庁は、大雨や暴風などによって発生する災害の防止・軽減のため、危険度の高まりに応じて注意報、警報、特別警報を段階的に発表しています。



土砂災害(がけ崩れ)に関する防災情報

府中市内に土砂災害(特別)警戒区域が指定されました

市内にある24箇所の斜面(急傾斜地)が指定されています。

土砂災害から市民の生命を守るため、土砂災害が発生するおそれがある区域を明らかにして住民に知らせる土砂災害防止法の趣旨に基づいて、東京都は令和元年9月に府中市内に所在する斜面(急傾斜地)を土砂災害警戒区域および土砂災害特別警戒区域に指定しました。

指定区域については39~42ページ「土砂災害ハザードマップ」をご覧ください。



土砂災害(特別)警戒区域

土砂災害警戒区域(通称:イエローゾーン)

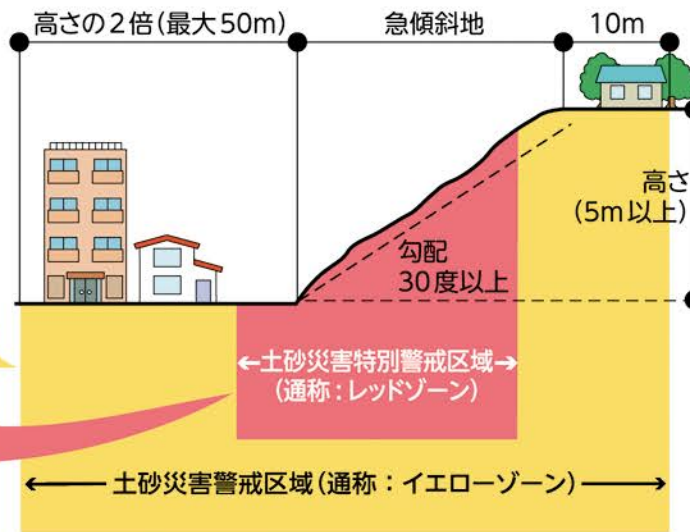
土砂災害のおそれがある区域

市民の生命・身体に危害が生じるおそれがあると認められる区域
ハザードマップによる周知や避難情報の伝達など警戒避難体制の整備が行われます。

土砂災害特別警戒区域(通称:レッドゾーン)

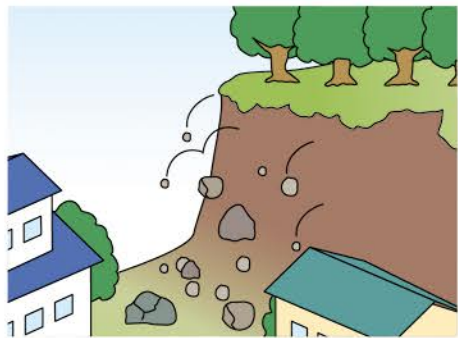
建物が破壊され、人命に大きな被害が生じるおそれがある区域

建築物に損壊が生じ市民の生命・身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる区域
特定の開発行為に対する許可制、建築物の構造規制、移転勧告などが行われます。

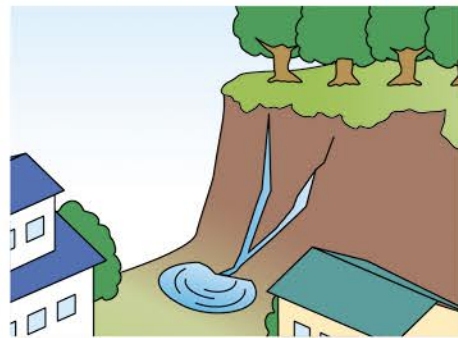


土砂災害の予兆現象

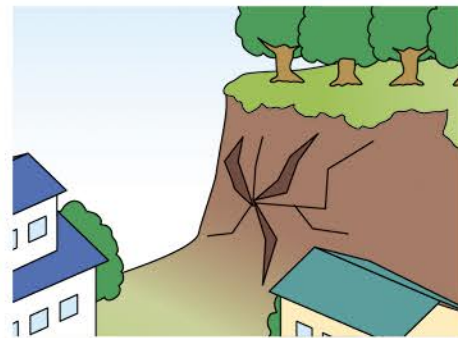
土砂災害の予兆現象を確認したら府中市から避難情報が発令されていなくても一刻も早く区域外に避難してください。



がけから小石がパラパラと落ちてくる



がけから水が湧き出している



がけに割れ目が見える

●はけ

「はけ」とは崖地形を指す日本の古い地形の呼び名です。府中市には多摩川の河岸段丘による高低差10m程の崖地形が東西に通っていて府中崖線とも呼ばれています。

※地震を起こす活断層とは成り立ちが異なります。



土砂災害警戒情報や避難情報を活用して適切なタイミングで避難する

行政の知らせる努力と住民の知る努力の相乗効果で、土砂災害から生命・身体を守りましょう。

土砂災害警戒情報(警戒レベル4相当)

土砂災害警戒情報は気象庁と東京都が共同で発表します。

命に危険を及ぼす土砂災害がいつ発生してもおかしくない状況となったときに、避難指示などの発令や住民の避難の判断を支援するため自治体を特定してテレビやインターネットで警戒を呼びかけます。



雨の降り方

大雨注意報
(土砂災害)

大雨警報
(土砂災害)

土砂災害
警戒情報

大雨
特別警報

強

警戒レベル

2

注意

ハザードマップ等により避難行動を確認する。今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に注意する。



府中市が発令する避難情報▶

警戒レベル

3

警戒

避難の準備が整い次第、土砂災害警戒区域外へ避難を開始。高齢者等は速やかに避難を開始する。



高齢者等避難

警戒レベル

4

危険

命に危険が及ぶ土砂災害がいつ発生してもおかしくない非常に危険な状況。速やかに土砂災害警戒区域外へ避難を開始する。



避難指示

警戒レベル

5

災害切迫

過去の重大な土砂災害発生時に匹敵する極めて危険な状態。命に危険が及ぶ土砂災害が既に発生しているにもかかわらず。



緊急安全確保

警戒レベル4までに必ず避難

府中市の避難情報

府中市は土砂災害警戒情報の発表基準にあわせて、避難指示などの避難情報を発令します。

府中市から避難情報を受け取った場合は土砂災害(特別)警戒区域内にお住まいの方は一刻も早く区域外に避難してください。

キキクル(危険度分布)で災害発生の危険度の高まりを確認

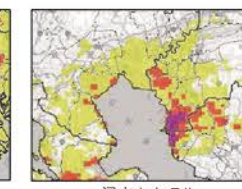
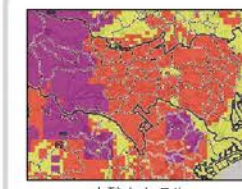
「キキクル(危険度分布)」は、洪水災害、浸水害、土砂災害の危険度の高まりをマップで確認できる気象庁のサービスで、「洪水キキクル(洪水災害)」「浸水キキクル(浸水害)」「土砂キキクル(土砂災害)」の3つで危険度を発表しています。危険度は5段階で色分けされており、「白(洪水災害は水色)→黄→赤→紫→黒」の順に危険度が高くなっています。

[PCから]

気象庁ホームページ(<https://www.jma.go.jp/jma/>)のホーム画面で「キキクル(危険度分布)」を選択します。

[スマートフォンから]

右の二次元コードを読み取ると、府中市の「キキクル(危険度分布)」ページが確認できます。



出典:リーフレット「キキクル 大雨警報・洪水警報の危険度分布」(気象庁ホームページより)

風水害時の避難

発表される様々な防災情報を確認して災害が発生する前に自ら避難行動を起こす必要があります。

立ち退き避難（水平移動）

洪水による避難は高台へ、土砂災害からの避難は警戒区域の外への立ち退き避難が基本です。

多摩川の氾濫により浸水が想定される区域にお住まいの方は、府中市が避難情報を発令したら早めに高台の安全な場所に立ち退き避難を行ってください。また、土砂災害（特別）警戒区域内にお住いの方は一刻も早く警戒区域の外に避難してください。浸水想定区域については35・36ページ「多摩川氾濫避難マップ」をご確認ください。



自助・共助・公助による避難先の確保

多摩川の浸水想定区域に居住する府中市民は約9万5千人で人口の約3分の1に相当します。このため、浸水しない区域にある避難所（市立小中学校の体育館等）だけでは全ての避難者を収容することができません。避難先の確保は避難所（公助）に限らず、親戚や知人宅の家を頼る（共助）、ホテル等に宿泊する（自助）などあらゆる手段を講じて多くの方が高台に避難できるようご協力ください。また、車両による避難は高齢者の搬送など特別な理由がない限り控えてください。



立ち退き避難の注意点

洪水や土砂災害が発生する前に避難を完了しましょう。

◆ 早期に立ち退き避難開始 警戒レベル2～

不安や危険を感じたら、避難情報の発令を待たずに安全な知人宅やホテルに避難を始めよう。

◆ 飛来物に注意 警戒レベル3～

気象状況が悪化して徒歩による避難が困難になるのはもとより、風でものが飛んでくる可能性があり大変危険。

◆ 徒歩避難は足元に注意 警戒レベル3～

浸水が始まると「足をすくわれる」「深みにはまる」などの危険がある。杖や棒などで足元と水の中の障害物などを確認しながら歩く。

◆ 車両による避難 警戒レベル3～

交通規制や渋滞などにより、身動きがとれなくなる可能性がある。車両の使用は高齢者の搬送などを優先する。

屋内安全確保（垂直移動）

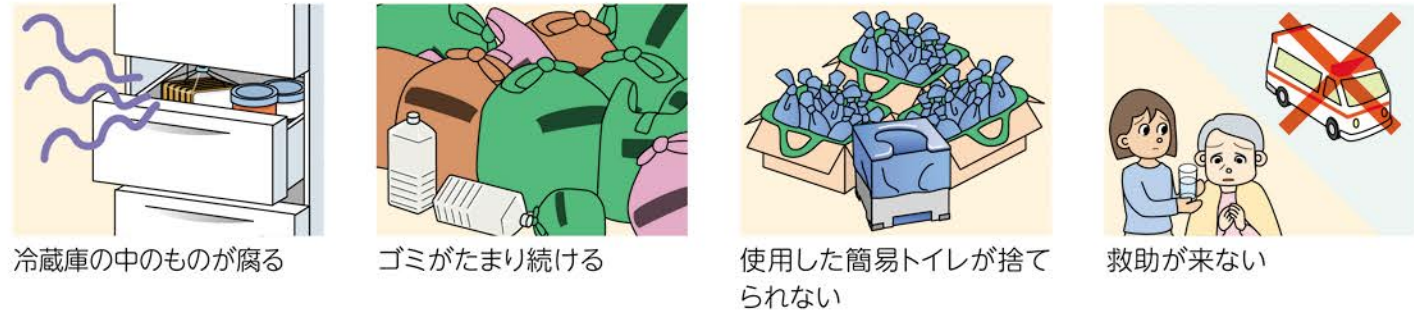
緊急かつ最終的な避難手段になります。

高台の安全な場所まで立ち退き避難をする時間がない、または、移動に危険が伴う、もしくは、移動が困難な場合は、堅牢な建物の浸水しない階層や崖などの危険な場所から最も離れた部屋等へ避難してください。ただし、多摩川の氾濫による氾濫流や川の侵食で家屋が倒壊するおそれがあると想定される区域ではこの避難は行えません。

屋内安全確保は、緊急事態を回避する最終手段です！

屋内安全確保（垂直移動）のリスク

多摩川が氾濫した場合には浸水により数日間は移動できなくなるおそれがあります。また、浸水被害により停電や断水が同時に発生する可能性があるため、屋内安全確保（垂直移動）は、次のようなリスクが考えられ十分な備えが必要になります。



多くの市民が安全な場所に避難するために

地域の共助による取り組みや協力が必要です。

高齢者や障害のある方、外国人などの要配慮者は、「一人で避難することが難しい」「避難情報が受け取れない・理解できない」などの問題が生じることが考えられます。このような方々を安全な場所へ避難させるために、ご近所や地域の方々には避難行動への協力（共助）をお願いします。

◆ 日頃から親交を深めましょう

日頃から要配慮者の方々と顔をあわせておきましょう。
※避難時や緊急時の対応も安心かつスムーズに行えます。

◆ 支援方法を検討しましょう

移動が困難な方の避難支援には車両の使用を検討するほか、支援に役立つ資器材などを用意しておきましょう。

◆ 避難の際にはご近所に一声かけましょう

避難する際は、近所の人に「一緒に避難しましょう」と声をかけましょう。
※あなたの一声をきっかけにして避難を決断できる人がいます。

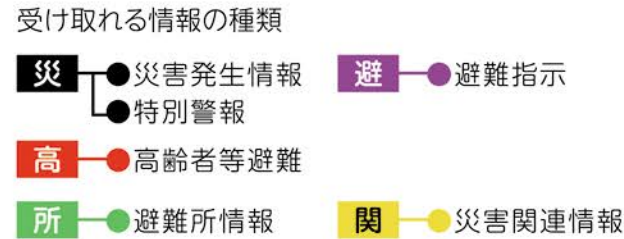
◆ 要配慮者の方々に手を貸しましょう

一緒に避難することで、要配慮者の方々も落ち着いて行動できます。不安を取り除くように、声をかけながら避難しましょう。

避難情報等の受け取り方

避難情報や防災情報を受け取る手段を確認しよう。

携帯電話やスマートフォン、テレビ、パソコンなどを活用して様々な手段により避難情報や防災情報を受け取ることができます。自分に必要な情報が確実に受け取れるよう複数の手段を確保しておきましょう。



メール配信等

災害時に次のような手段で市民の皆様へ迅速かつ正確に情報を伝達します。

緊急速報メール・エリアメール

災
避
高

府中市が配信する「避難情報」を回線混雑の影響を受けずに、市内にいる方の携帯電話やスマートフォンに送信します。また、この他にも、国等から氾濫発生情報や、緊急地震速報等が配信されます。受信できるのは、NTTdocomo、au、Softbank、楽天モバイルの各キャリアの端末となります。

府中市メール配信サービス(安全・安心情報)

災
避
高
所
関

防災をはじめとする市政全般の情報が得られる府中市の登録制メール配信サービスです。必要な情報を選択して受け取ることができ、安全・安心情報を選択すると「避難情報」等が受信できます。



Yahoo!防災速報

災
避
高
所
関

府中市を地域登録すると、府中市が配信する「避難情報」等が回線混雑の影響を受けずに携帯電話やスマートフォンの画面にポップアップします。3つの地域が登録できるため親類や知人が住んでいる地域を登録することもできます。



府中市公式X(旧ツイッター)

災
避
高
所
関

Xのアカウントは「東京都府中市」、ユーザー名は「@fuchu_tokyo」です。災害情報や地域安全情報、市のPR情報などをお知らせします。情報提供の手段として運用するため、Xを使った問い合わせ(リプライやダイレクトメッセージ)等への返信は行いません。



デジタルデータ放送④

テレビのデジタルデータ放送で府中市の避難情報や避難所等の情報が受け取れます。

災
避
高
所
関

府中市が配信する「避難情報」はテレビのデジタルコンテンツ④から「地域の防災情報」を選択すると現在配信されている府中市の防災情報をテレビの画面上で常に文字情報として確認することができます。



インターネット

インターネットを使って関係機関から情報が受け取れます。

気象庁ホームページ

<https://www.jma.go.jp/jma/index.html>

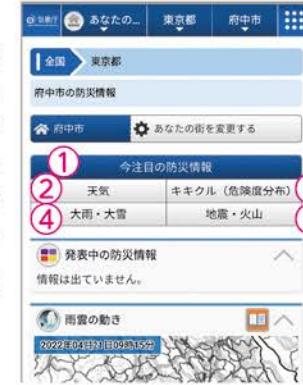


最新の気象情報や今後の推移などが確認できます。

「あなたの街の防災情報」

【表示例】府中市

トップページで「防災情報」を選択すると、「あなたの街の防災情報」が登録できます。ご覧になりたい地域で府中市を登録すると、次回以降は「府中市の防災情報」が表示されます。



主な表示内容

- ① **今注目の防災情報**
 - 発表中の防災情報
 - 警報・注意報(発表情報)
 - アメダス(一覧表)
 - 台風経路図 など
- ② **天気**
 - 天気予報(一覧表)
 - 雨雲の動き など
- ③ **キキクル(危険度分布)**
 - 浸水・土砂・洪水キキクル(危険度分布) など
- ④ **大雨・台風**
 - 早期注意情報
 - 天気予報(一覧表)
- ⑤ **地震・火山**
 - 地震情報(一覧表)
 - 津波
 - 噴火警報・予報 など

※各情報の「詳しく見る」を選択すると、より詳細な情報とともに、情報の見方の説明などが確認できます。

その他の情報 ● 気象警報・注意報 ● 指定河川洪水予報 ● 大雨警報(土砂災害)の危険度分布

国土交通省「川の防災情報」ホームページ

<https://www.river.go.jp/>

全国の水位や雨量、洪水予報などが確認できます。



国土交通省 京浜河川事務所ホームページ

<https://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/>

多摩川の水位・雨量やライブ映像を公開しています。



東京都下水道局「東京アメッシュ」ホームページ

<https://tokyo-ame.jwa.or.jp/>

数時間前から現在の降雨状況・降雨量を150mの表示メッシュで公開しています。



府中市ホームページ

<https://www.city.fuchu.tokyo.jp/>

大規模な災害発生時には、災害時用トップページに切り替わります。



防災行政無線・フリーアクセスダイヤル

防災行政無線のスピーカー等により避難情報を伝えます。

防災行政無線塔

災
避
高

災害時等における市民の皆さんへの情報伝達手段として整備しています。災害時に防災行政無線が正常に動作することを確認するため、お昼と夕方に試験放送をしています。



防災情報フリーアクセスダイヤル

災
避
高

防災行政無線で放送した内容が聞き取りづらかった場合等には、次の電話番号にお掛けいただくと、放送内容の確認をすることができます。通話料はかかりません。

☎ 0800-8000-606

防災情報が受け取りづらい人がいます

テレビやラジオ、インターネットなどから防災情報を確認することができない方がいます。避難に関わるような大切な情報を得た時に、ご近所にそのような方がいる場合は情報を伝えて一緒に避難するなどのお手伝いをお願いいたします。

水害への備え・避難時の装備

いざという時に備えて、備蓄や装備を整えよう。

風水害への備え

天候が悪くなる前に準備を完了しましょう。

家屋の浸水防止対策

排水口に水のうを置き、逆流を防止する。
証書類や持ち運べる家財などを屋内の高い場所や上階に移動する。



ライフラインの停止に備える

ライフラインの停止に備え、数日分の備蓄を行う。
備蓄品は、食料(火や水を使わずに食べられるもの)や簡易トイレなど。



風水害時の避難の装備

天候が悪い中避難することも想定しておきましょう。

- レインコートのフードを被っても視界が確保できるようキャップを被ると良い
- レインコートは上下が分かれるセパレートタイプのものが動きやすい
- 台風等の風が強いときには傘は閉じて杖替わりにする
- 両手がふさがらないリュックサックで移動！ 防水性があると良いが防水機能がないものは中身が濡れないよう袋に入れておく
- スマートフォンは濡れても操作できるように密封袋に入れておく
- 長靴ではなく、長距離移動ができるよう歩きやすいスニーカー等が良い

風水害時の非常持ち出し

すぐに持ち出せるように準備しておきましょう。

ないと困るもの



あると便利なもの



多摩川の浸水想定を確認する

多摩川氾濫避難マップから浸水リスクを読み解く

自宅や学校、職場のある場所がどれだけ浸水のリスクがあるか知ることが重要です。

多摩川が氾濫した場合に自宅や学校、職場などのある場所にどの程度の浸水危険があるのかを理解し、命を守るための適切な避難行動がとれるようにしておきましょう。
浸水想定については35・36ページ「多摩川氾濫避難マップ」を確認してみましょう。

浸水深

浸水深が0m~0.5m未満の区域
1階の床下まで浸水する程度

木造建築 鉄筋・鉄骨鉄筋コンクリート建築

浸水深が0.5m~3.0m未満の区域
1階の床上から1階の天井まで浸水する程度

木造建築 鉄筋・鉄骨鉄筋コンクリート建築

浸水深が3.0m~5.0m未満の区域
1階の天井から2階の天井近くまで浸水する程度

木造建築 鉄筋・鉄骨鉄筋コンクリート建築

浸水深が5.0m~10.0mの区域
2階の天井以上まで浸水する程度

木造建築 鉄筋・鉄骨鉄筋コンクリート建築

家屋倒壊等氾濫想定区域

氾濫流により木造家屋の倒壊を引き起こす区域

木造建築 鉄筋・鉄骨鉄筋コンクリート建築

氾濫流により河岸が侵食され住宅の倒壊を引き起こす区域

木造建築 鉄筋・鉄骨鉄筋コンクリート建築

- 家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流) 氾濫流の直撃により建物が流失してしまうと想定される範囲
- 家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食) 氾濫流により河岸の侵食を受け、建物や土地が流失してしまうと想定される範囲



避難行動判定フロー

多摩川が氾濫する危険性が高まった場合の避難行動を確認しよう。

避難の開始時期と避難先を確認しよう

「多摩川氾濫避難マップ」を確認しながら、避難行動判定フローを進めましょう。

「避難行動判定フロー」は、多摩川が氾濫する危険性が高まった場合に「いつ」「どこへ」避難すべきかを検討・確認するものです。

自宅の浸水深と家族構成、身を寄せられる親戚や知人の有無などから、避難の開始時期と避難先を確認しましょう。

35～36ページ「多摩川氾濫避難マップ」で自分の家がどこにあるか確認し、印をつけてみましょう。

自宅がある場所に色が塗られていますか？

●色が塗られている場所は**浸水想定区域、家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流/河岸侵食)、土砂災害(特別)警戒区域**です。



いいえ

はい

基本的に避難する必要はありません。しかし、色が塗られていなくても、**周りと比べて低い土地や崖のそばなどに住んでいる場合は、府中市からの避難情報を参考に必要に応じて避難してください。**



被害を受けるおそれがあるので、原則として**立ち退き避難(水平避難)**が必要です。

例外

ご自身または一緒に避難する方は避難に時間がかかりますか？



はい

安全な場所に住んでいる親戚や知人はいますか？

はい

いいえ

- 鉄道やバスの運休前に、親戚や知人宅に避難しましょう。
 - 警戒レベル3高齢者等避難が出たら、親戚や知人宅に避難しましょう。
- ※日頃から相談しておきましょう



- 避難先として、ホテル・旅館の利用を検討しましょう。
- ※事前の予約・確認が必要です
- 自主避難所開設のお知らせが出たら、自主避難所に避難しましょう。
- 警戒レベル3高齢者等避難が出たら、府中市が指定している避難所に避難しましょう。



- 警戒レベル4避難指示が出たら、親戚や知人宅に避難しましょう。
- ※日頃から相談しておきましょう



安全な場所に住んでいる親戚や知人はいますか？

はい

いいえ

- 警戒レベル4避難指示が出たら、府中市が指定している避難所に避難しましょう。



ご自身や家族の安全が確保できる場合は**屋内安全確保**を行うことができます。

浸水害の場合…下記の①～③を満たす場合は、自宅に留まり安全確保することも可能です。

- ①自宅が家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流/河岸侵食)の外側にある
- ②生活可能な部屋が浸水する深さよりも高いところにある
- ③浸水しても水がひくまで我慢ができ、水・食料などの備えが十分にある

土砂災害の場合…十分堅牢なマンション等の上階層に住んでいる場合は、自宅に留まり安全確保することも可能です。

「避難行動判定フロー」による避難行動は、参考例のひとつに過ぎません。
危険を感じたら、すぐに避難を始めてください。

マイ・タイムライン

多摩川が氾濫してしまう前までにすべきことを書き込み、いざというときに素早く正確に行動するための計画です。

マイ・タイムラインを作成して自分や家族の洪水時の行動を確認しよう

風水害から命を守るために必要な行動を起こすタイミングが見えてくる。

マイ・タイムラインとは、風水害(府中市では特に多摩川の氾濫)が発生する前に安全な場所へ避難できるよう、「いつ」「誰が」「何を」に着目して、とるべき防災行動を時間の経過にあわせて整理し表に示すもので、市民の皆さんや自治会・町会等で事前に作成しておくことが大事です。安全な場所への移動距離や移動スピードは人により違うため、自分や家族の生活状況を踏まえてハザードマップを確認しながら慌てず避難できるタイミングを確認しておきましょう。

<https://www.city.fuchu.tokyo.jp/bosaibohan/saigai/fuusuigai/time-line.html>

川の氾濫まで	行政などからの防災情報	府中市の情報	気象庁の情報	公共交通機関の情報	気象庁・国土交通省の共同発表	家庭での準備(例)
2~3日前	強い勢力の台風が関東地方に接近している！		気象情報(報道発表など)			●今後の天気や台風の進路を確認 ●家族全員の今後の予定を確認 ●マイ・タイムラインを確認 ●避難場所を確認 ●スマートフォン・携帯電話を充電 ●非常持ち出し袋を用意 ●[共助]ご近所と雨水ますなどの掃除や避難する場合の相談をする
	台風接近の注意喚起					
1日前	鉄道 計画運休を発表					●鉄道やバスの最終運行時間を確認
	自主避難所開設の決定					●自主避難所の場所や開設時間を確認 ●家の周りに風で飛ばされるものはないか確認(台風の場合) ●テレビ、インターネット等で雨や川の様子を確認 ●鉄道やバスの運休前に避難開始(高齢者等)
	大雨注意報・洪水注意報(警戒レベル2)					
	大雨警報・洪水警報(警戒レベル3相当)					
12時間前	自主避難所開設のお知らせ					●自主避難所へ避難開始(高齢者等) ●[共助]ご近所に声をかけながら避難する
	暴風警報					
	高齢者等避難(警戒レベル3) 危険な場所から高齢者等は避難！					●自宅と上流の雨量、川の水位を確認(以後随時) ●避難しやすい服装に着替える ●避難開始を判断する
	氾濫危険情報(警戒レベル4相当)					
	避難指示(警戒レベル4) 危険な場所から全員避難！					●安全な場所へ避難開始！ ●[共助]ご近所に声をかけながら避難する ●安全な場所へ避難完了！
	大雨特別警報(警戒レベル5相当)					
	緊急安全確保(警戒レベル5) 命の危険 直ちに安全確保！					●立ち退き避難が間に合わない場合は身の安全を確保！ ※自宅内で浸水が想定されない場所へ移動
氾濫発生	氾濫発生情報(警戒レベル5相当)					

川の氾濫まで	行政などからの防災情報	府中市の情報	気象庁の情報	公共交通機関の情報	気象庁・国土交通省の共同発表	家庭での準備 ここに書き込みをしてください
2~3日前	強い勢力の台風が関東地方に接近している！		気象情報(報道発表など)			
	台風接近の注意喚起					
1日前	鉄道 計画運休を発表					
	自主避難所開設の決定					
	大雨注意報・洪水注意報(警戒レベル2)					
	大雨警報・洪水警報(警戒レベル3相当)					
12時間前	自主避難所開設のお知らせ					
	暴風警報					
	高齢者等避難(警戒レベル3) 危険な場所から高齢者等は避難！					
	氾濫危険情報(警戒レベル4相当)					
	避難指示(警戒レベル4) 危険な場所から全員避難！					
	大雨特別警報(警戒レベル5相当)					
	緊急安全確保(警戒レベル5) 命の危険 直ちに安全確保！					
氾濫発生	氾濫発生情報(警戒レベル5相当)					

東京マイ・タイムライン

東京都でも各家庭や事業所等におけるマイ・タイムライン作成の支援を行っています。

東京都では、「台風が近づいているとき!」「大雨が長引くとき!」「短時間の急激な豪雨が发生时!」の3つの場面にあわせた専用のマイ・タイムラインシートを用意しています。また、初めてマイ・タイムラインを作成する方のためにマイ・タイムライン作成ガイドによる作成の手引きも公開していますので活用してみましょう。

東京マイ・タイムライン
<https://www.bousai.metro.tokyo.lg.jp/mytimeline/index.html>



多摩川氾濫避難マップ

「多摩川氾濫避難マップ」は、多摩川で外水氾濫が発生した場合、氾濫水が「どこへ」「どの程度の高さまで」押し寄せるかを想定して示した図です。氾濫の規模は、「多摩川浸水想定区域図」の想定をもとにしています。

多摩川氾濫時の避難所

府中市が開設する避難所

避難所に3つの利用方法を設定しています。

徒歩避難者の避難所

この避難所は車で避難はできません。
※避難所の収容人数には限りがあるため、あらかじめ複数の避難所と避難ルートを確認してください。
※雨風が強くなると、徒歩避難には危険が伴います。早めの避難を心掛けてください。

避難所名	所在地	避難所名	所在地
府中第一小学校	寿町2-6	府中第四中学校	美好町2-13
府中第二小学校	緑町1-29	府中第十中学校	西府町4-21
府中第四小学校	白糸台1-58	浅間中学校	浅間町1-1
白糸台小学校	白糸台2-16	白糸台体育館	白糸台1-50
若松小学校	若松町3-11	栄町体育館	米町1-1
本宿小学校	本宿町4-19	本宿体育館	本宿町4-23
府中第二中学校	紅葉丘1-23		

徒歩避難エリア

凡例

- 徒歩避難者の避難所
- 要配慮者専用の避難所
- 車両避難が可能な避難所
- 自主避難所(早期開設避難所)
- ペット同室可の避難所
- 応援協定締結事業所等
- 地下横断道路(アンダーパス)
- 府中市役所
- 警察署
- 交番・駐在所
- 消防署・消防出張所
- 防災センター(消防団詰所)
- 救急病院
- 病院
- 立ち退き避難の方向

家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流)
氾濫流の直撃により建物が流失してしまうと想定される範囲

家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食)
氾濫流により河岸の侵食を受け、建物や土地が流失してしまうと想定される範囲

土砂災害警戒区域
土砂災害特別警戒区域

▼ 浸水深の色の見方

浸水深	水深の目安
5.0m	2層の天井以上で浸水する程度
3.0m	1層の天井から2層の天井近くまで浸水する程度
1.5m	1層の床から1層の天井まで浸水する程度
0.5m	1層の床下まで浸水する程度

自主避難所(早期開設避難所)

暴風雨や公共交通機関の運休により避難が困難になる前に、避難指示などの発令を待たずに自発的な避難を行う方を受け入れるため早期に開設します。

ペット同室可の避難所

ケージやキャリーバッグを持参した方に限り、屋内での同室による避難(一緒に部屋に入る)が可能です。

要配慮者専用の避難所

専用駐車場があります

高齢者、障害者、妊産婦など配慮を要する方が付き添いの方と一緒にご利用いただけます。
※医療的ケアは行いません。

避難所名	所在地	専用駐車場
中央文化センター	府中町2-25	府中公園(府中町2-26)
白糸台文化センター	白糸台1-60	府中第四小学校(白糸台1-58)
武蔵台文化センター	武蔵台2-2	武蔵台少年野球場(武蔵台2-2)
新町文化センター	新町1-66	府中第五中学校(新町2-44)
紅葉丘文化センター	紅葉丘2-1	府中第二中学校(紅葉丘1-23)
片町文化センター	片町2-17	片町第三公園(片町2-17)
ルミエール府中	府中町2-24	地下駐車場
生涯学習センター	浅間町1-7	地下駐車場

応援協定締結事業所等

- 市の避難所(徒歩避難者の避難所、要配慮者専用の避難所、車両避難が可能な避難所)を開設した後、状況に応じて避難所の開設を要請します。
- 障害者や妊産婦を対象とする避難先もあります。
- 開設が完了した時に、府中市ホームページやVACANホームページなどでその旨お知らせします。

車両避難が可能な避難所

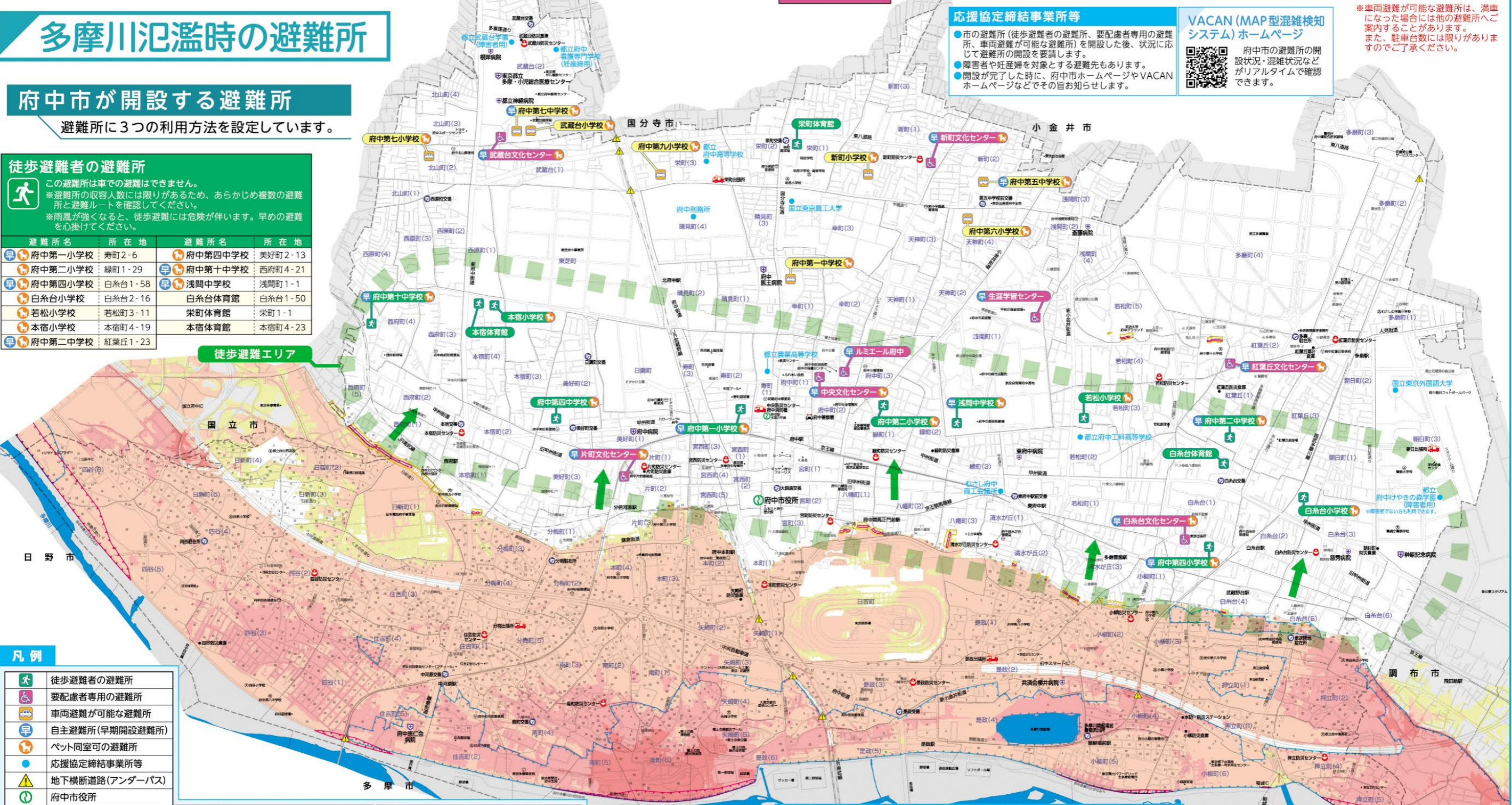
※車両避難中に浸水被害が発生するおそれがあるため早めの避難の場合に限ります。
※車内における自分や家族などの健康状態にご注意ください。

避難所名	所在地	避難所名	所在地
府中第六小学校	天神町4-14	新町小学校	新町1-25
府中第七小学校	北山町2-23	府中第一中学校	幸町1-22
府中第九小学校	米町3-7	府中第五中学校	新町2-44
武蔵台小学校	武蔵台2-3	府中第七中学校	武蔵台2-4

VACAN(MAP型混雑検知システム)ホームページ

府中市の避難所の開設状況・混雑状況などがリアルタイムで確認できます。

※車両避難が可能な避難所は、満車になった場合には他の避難所へご案内することがあります。また、駐車台数には限りがありますのでご了承ください。



多摩川浸水想定区域図(想定最大規模)

この地図は、国土交通省が公表している多摩川・澁川・大栗川の洪水浸水想定区域図(想定最大規模)を基に、台風や大雨によって引き起こされる多摩川の氾濫を想定して示した図です。

浸水想定区域(想定最大規模)とは…
雨の降り方が類似する同じ地域内で観測された過去最大の大雨(多摩川の流域で48時間の総雨量58mm)が降った場合に、多摩川が氾濫したことを想定しています。

作成主体: 国土交通省関東地方整備局京浜河川事務所 指定年月日: 平成28年5月30日
※「多摩川水系浸水想定区域図」についての詳細のお問い合わせは、下記までお願いします。
国土交通省関東地方整備局京浜河川事務所 [電話] 045-503-4000

【地図をご覧いただく際の注意点】

- ◆地図に示した浸水の予想される範囲や深さは、任意の想定に基づいたシミュレーションの計算結果であり、土地の危険性を示すものではありません。また、浸水の予想されない範囲の安全性を保証するものではありません。
- ◆地図に示した浸水の予想される範囲以外でも、状況によっては浸水する可能性があります。
- ◆浸水の予想される範囲及びその程度は、雨の降り方や土地の形態の変化及び河川、下水道の整備状況等により変化することがあります。

内水氾濫マップ

この地図は、「北多摩一号処理区、北多摩二号処理区浸水予想区域図(改定)」と「野川、仙川、谷沢川及び丸子川流域浸水予想区域図(改定)」をもとに、大雨が降った場合に浸水が予想される区域と想定される最大の水深を示したものです。

浸水想定区域とは…

この地図の浸水予想区域は、河川が増水したときに、下水道が河川に到達する直前の地盤の低い土地の浸水や、下水道の処理能力を超えて降る雨などによって浸水する範囲です。
想定した雨量は想定し得る最大規模の降雨(総雨量690mm、時間最大降雨153mm)です。

北多摩一号処理区、北多摩二号処理区浸水予想区域図(改定)

※この浸水予想区域図は河川の氾濫は想定していません。

(1) 作成主体 東京都下水道局流域下水道本部、立川市、府中市、小金井市、国分寺市、国立市

(2) 作成年月日 令和2年3月26日

※北多摩一号処理区 北多摩一号水再生センター(小柳町6丁目先)に流れ込む下水道の範囲

※北多摩二号処理区 北多摩二号水再生センター(国立市泉1-24-32)に流れ込む下水道の範囲

野川、仙川、谷沢川及び丸子川流域浸水予想区域図(改定)

※府中市内では野川から溢れた水が住宅地まで浸水すると想定されておりません。

(1) 作成主体 東京都都市型水害対策連絡会

(2) 作成年月日 令和元年6月27日

野川流域浸水予想区域
北多摩一号処理区

野川流域
浸水予想区域
北多摩一号処理区

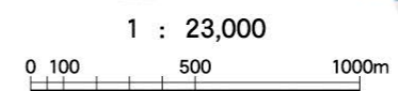


凡例

- 指定避難場所(洪水・内水氾濫)
- 地下横断道路(アンダーパス)
- 土砂災害警戒区域
- 土砂災害特別警戒区域
- 府中市役所
- 警察署
- 交番・駐在所
- 消防署・消防出張所

浸水深の色の見方	浸水深	水深の目安
(Dark Red)	5.0m	2階の軒下までつかる程度
(Red)	3.0m	1階天井を越えて浸水する
(Light Red)	1.0m	1階の床までつかる程度
(Orange)	0.5m	
(Yellow)	0.1m	1階の床下までつかる程度

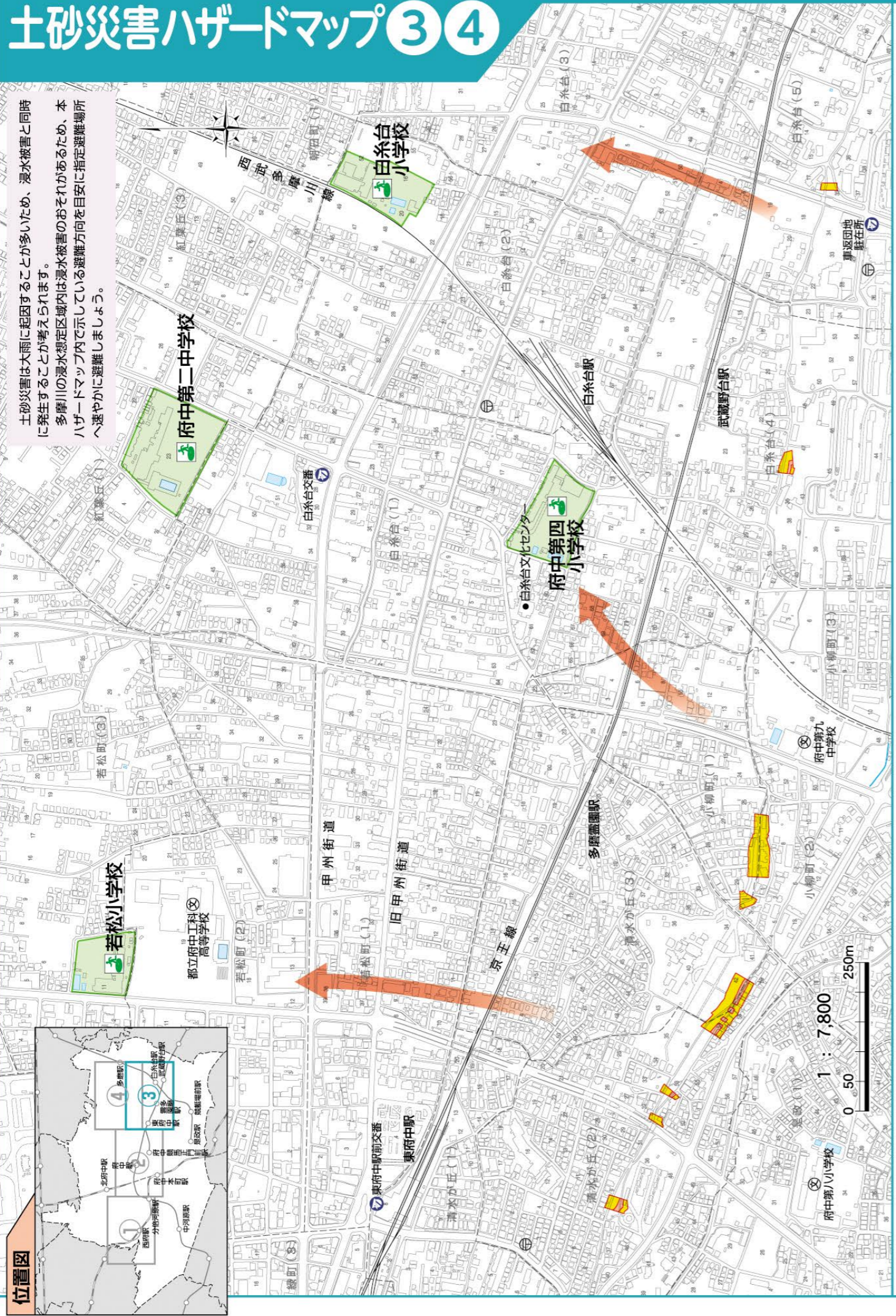
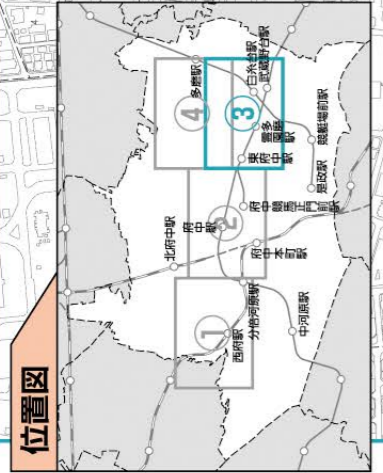
【地図をご覧ください際の注意点】
・浸水の予想される区域及びその程度は、雨の降り方や土地の形態の変化及び河川、下水道の整備状況等により変化することがあります。
・落ち葉による雨水マスの詰まり等により起きる浸水は、シミュレーションでは反映しきれないため注意が必要です。



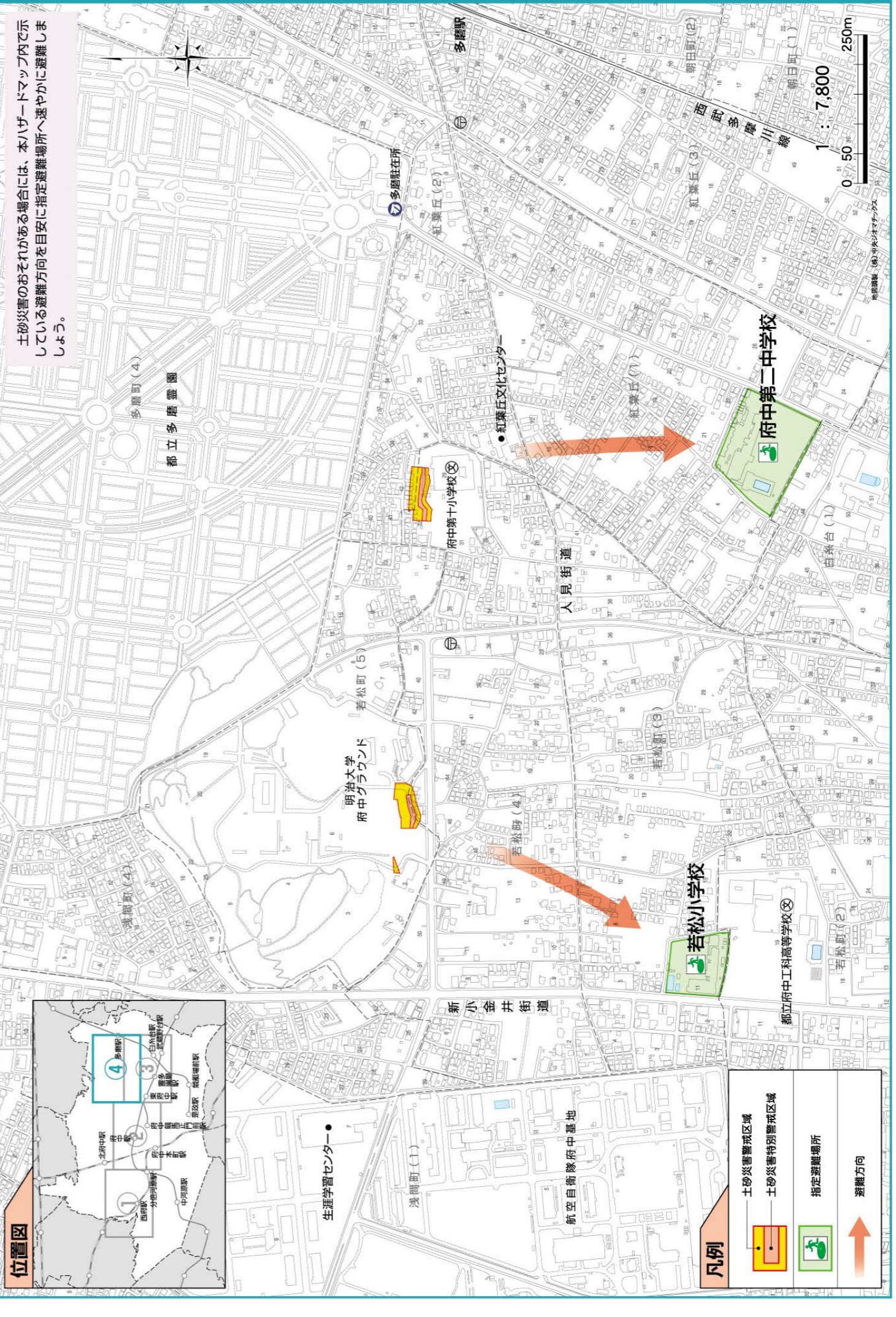
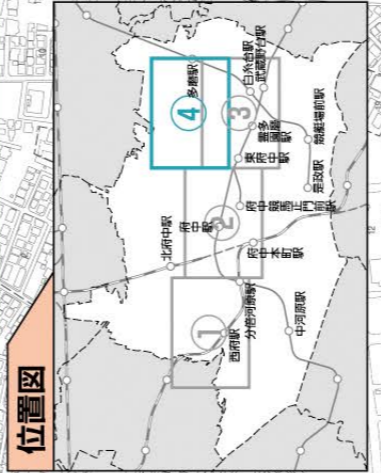
地図調整 (株) 中央ジオマチックス

土砂災害ハザードマップ③④

土砂災害は大雨に起因することが多いため、浸水被害と同時発生することが考えられます。多摩川の浸水想定区域内は浸水被害のおそれがあるため、本ハザードマップ内で示している避難方向を目安に指定避難場所へ速やかに避難しましょう。



位置図



凡例

- 土砂災害警戒区域
- 土砂災害特別警戒区域
- 指定避難場所
- 避難方向

土砂災害のおそれがある場合には、本ハザードマップ内で示している避難方向を目安に指定避難場所へ速やかに避難しましょう。